

# かぐら 神楽つて？

日本人は昔から、私たちに恵みを与えてくれる神々に、感謝と祈りを捧げてきました。

神楽は、人々の健康や豊作を願い、神様の心を和ませるために行う儀式です。

神楽の始まりは、日本神話の中で、神様が岩の奥に隠れてしまった時、外に連れ出すためにもう一人の神様が舞を見せたと言われる物語があり、

その舞が始まりと言われています。

神楽を奉納し、神々を喜ばせることができた時、再びその恵みが人々に降り注がれます。

この本では、国見のたからもの一つ、国見町内谷地区に伝わる「内谷太々神楽」の始まりから今に続く物語をまとめました。







内谷地区  
春日神社の例大祭



タカオ  
高校2年生

あんず  
小学3年生

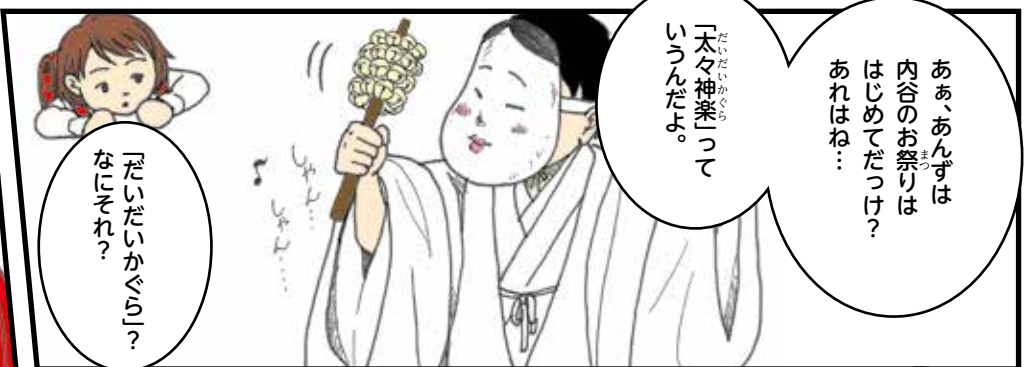
わあ、楽しそう！  
あれって  
何やってんの？



いつからやってんの？

ボクは10年前からだけど、  
えーっと昔のことは  
よくわかんないな。

ももじりに  
聞いてみよう！



「だいたいかぐら」？  
なにそれ？

「太々神楽って  
いうんだよ。」

ああ、あんずは  
内容のお祭りは  
はじめてだったけ？  
あれはね…



「簡単に言っちゃうと、  
神様を喜ばすための  
舞なんだよ。」

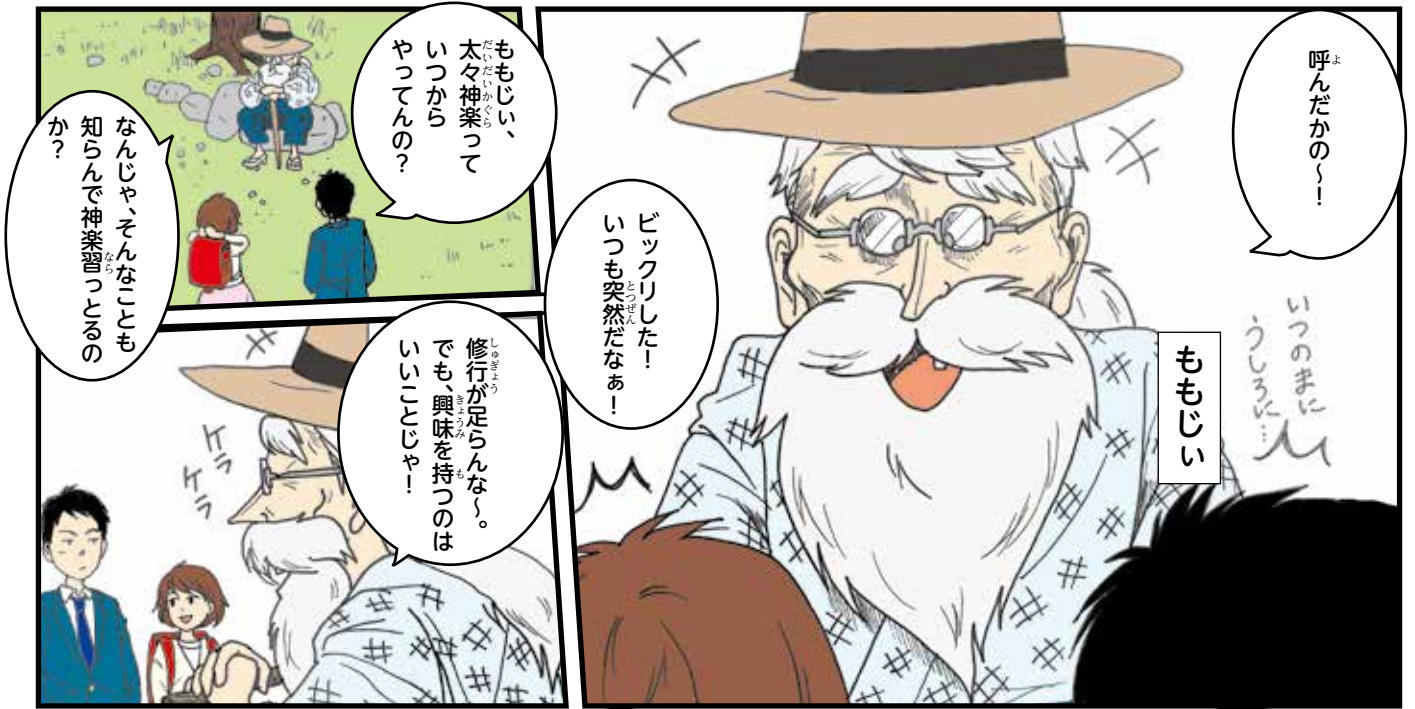
岩戸に隠れてしまった神様に、またお  
出ましたくため、岩戸の前で別の  
神様が舞ったのが「神楽」の始まりなん  
だって。  
「太々神楽の「太々」っていうのは、  
「素晴らしい」という意味なんだ。  
それから神楽には豊作祈願の願いも込  
められているんだよ。」

## 内谷春日神社

奈良の春日大社ゆかりの神社で、  
文化6年（1809年）に創建されま  
した。現在の社殿は昭和8年と昭和15  
年に再建されたもので、地元の大工さ  
んが地元の木を伐り出し建築したと  
伝えられています。現在も地域の方々  
の厚い信仰を集めていて四月に行わ  
れる春の例大祭では、境内の神楽殿で  
太々神楽の奉納が行われています。









明治14年  
内谷地区

ほら、もう明治の時代じゃよ。

わっ！  
馬がいる！

当時は田畑を耕すのに馬が使われていたからの。



博勞と言って馬を売り買ひする人が、あちこちの地域を歩きまわっていたんじや。

いやあ、三春のお祭りは盛り上がり最高ですよ。

ああ、そうすとも。すごい賑わいだ。早く来年になんねえがな。

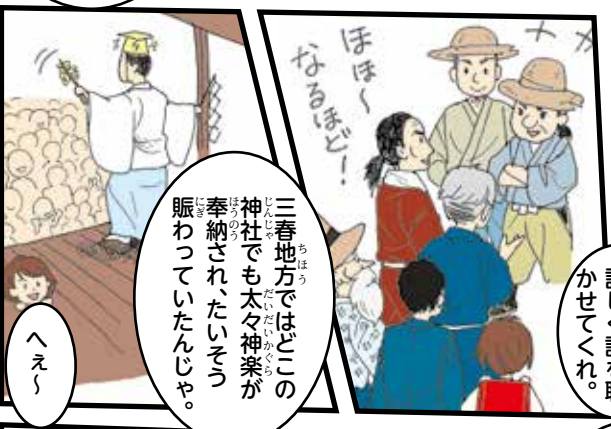
菅野秀五郎

へえ、そんなに面白いのが？

え、うちよっと詳しく話を聴かせてくれ。

鴨田祐之助

三春地方ではこの神社でも太々神楽が奉納されたいそう賑わっていたんじや。



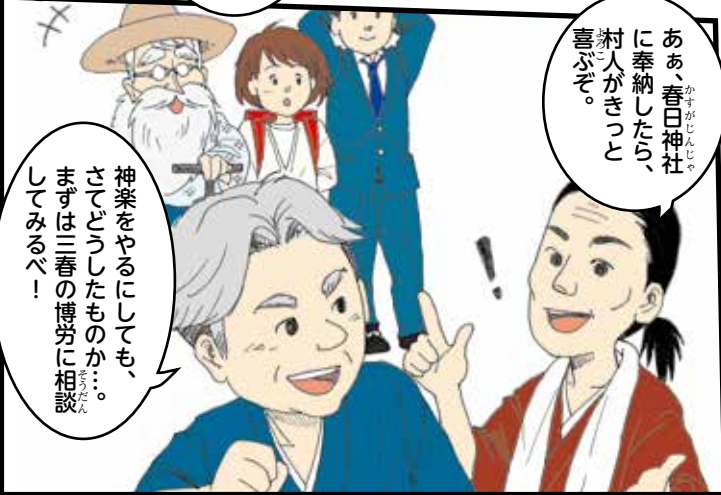
三春では今でも神楽を奉納してるんだよ。

いや、たいしたものだ。ぜひ内谷でもやりたいもんだね。

そうだ。俺らで村のために神楽を奉納しようじゃないか！

ああ、春日神社に奉納したら、村人がぎっと喜ぶぞ。

神楽をやるにしても、さてどうしたものか...。まずは三春の博勞に相談してみるべ！



### 三春地方から伝わった神楽

明治の時代、農耕に欠かせなかった馬は、当時馬の産地であった三春地方から売込みや買付けで行き来していた博勞達を介して購入していました。

当時の大地主であった東内谷の菅野秀五郎、西内谷の鴨田祐之助が、その博勞達より、三春地方の神社の祭りには神楽の奉納があり大変な賑わいだとの話を聞き、内谷の春日神社でも是非奉納したいと考え、三春地方から師匠を招き内谷の若者たちへの指導を仰ぎました。

この三春地方の神楽は出雲流神楽と呼ばれ、その多くは、幕末〜明治時代に神楽の指導者としてこの地方で活躍していた国分大隅の流れを汲む大隅流と呼ばれています。内谷太々神楽も同じ流派に属します。

※三春地方  
明治4年に廃藩置県によって置かれた三春県(旧三春藩領) 現在の田村郡三春町及び田村市周辺を指す。



そしてなんと三春の博覧に聞いてみると、その博覧も楽人であり三春から仲間を集めて、舞3名、笛1名、太鼓1名の5人の師匠が来てくれることになりました。  
 ※楽人：神楽を舞ったり演奏したりする人

これはこれは皆様、遠いところありがとうございます。とさうございます。

若いのを集めておいたのでも、指導のほごよろしくお願ひします。

せっかく神楽をやるからには26座きっちり全部覚えてもらいますよ。



明治15年正月2日

鴨田と菅野は若い村人15、16人を集めて1ヶ月間稽古に打ち込ませたんじや。二人は必要な道具を全て揃え、師匠達を自宅へ宿泊させて、若者どもも正月料理やお酒も十分に振る舞ったんじやよ。

若者たちは、短期間で26座全てを覚えるため、毎晩遅くまで一生懸命稽古に励んだんじや。

へえ、それは大変だったね。



1ヶ月後  
 うむ、26座全て完璧じゃ。皆よくやった。

ひと月よくがんばったな。せっかく覚えたんじやから、忘れんでくれよ。

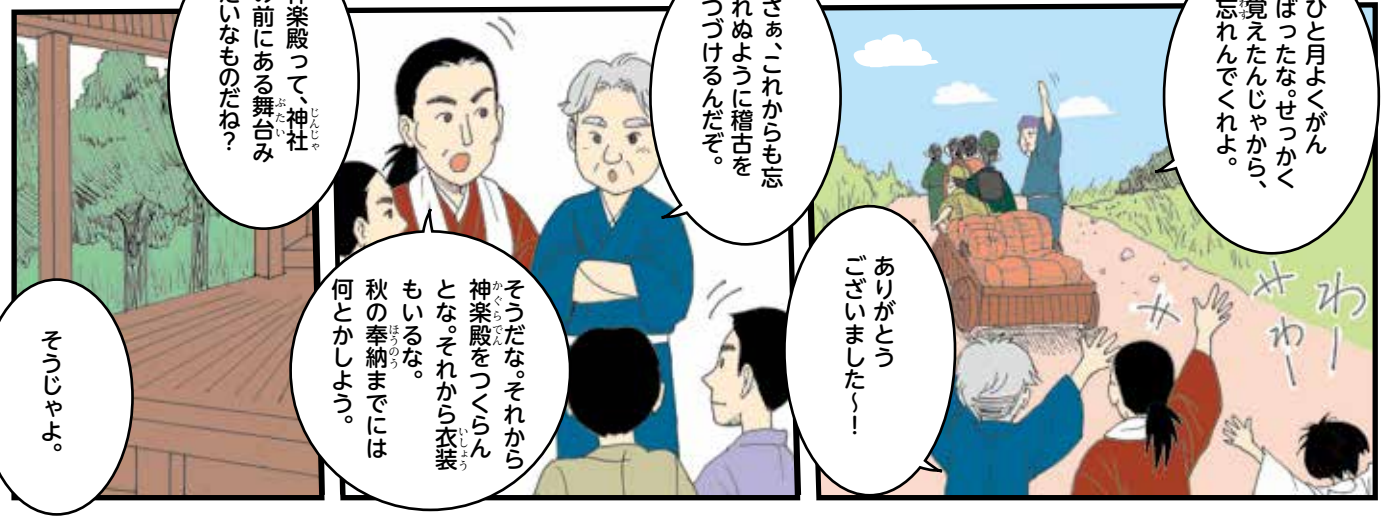
さあ、これから忘れぬように稽古をこつけるんだぞ。

ありがとう、ございました〜！

そうだな。それから神楽殿をつくらんとな。それから衣装もあるな。秋の奉納までには何とかしよう。

神楽殿って、神社の前面にある舞台みたいなものだね？

そうじやよ。

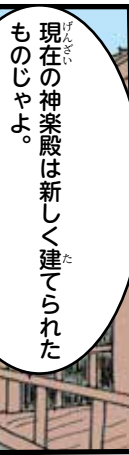




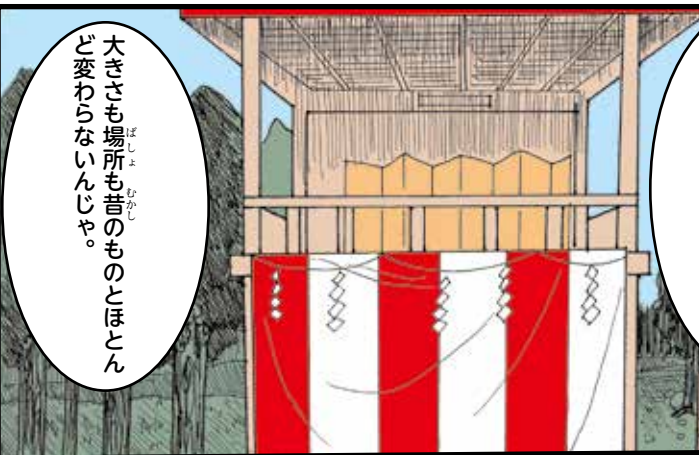


神楽殿は最初は組立式で、  
組立式の神楽殿は、近隣の村に  
も貸し出され、大いに活躍した  
もんじや。

ありがとう



現在の神楽殿は新しく建てられた  
ものじやよ。



大きさも場所も昔のものとはほとん  
ど変わらないんじや。

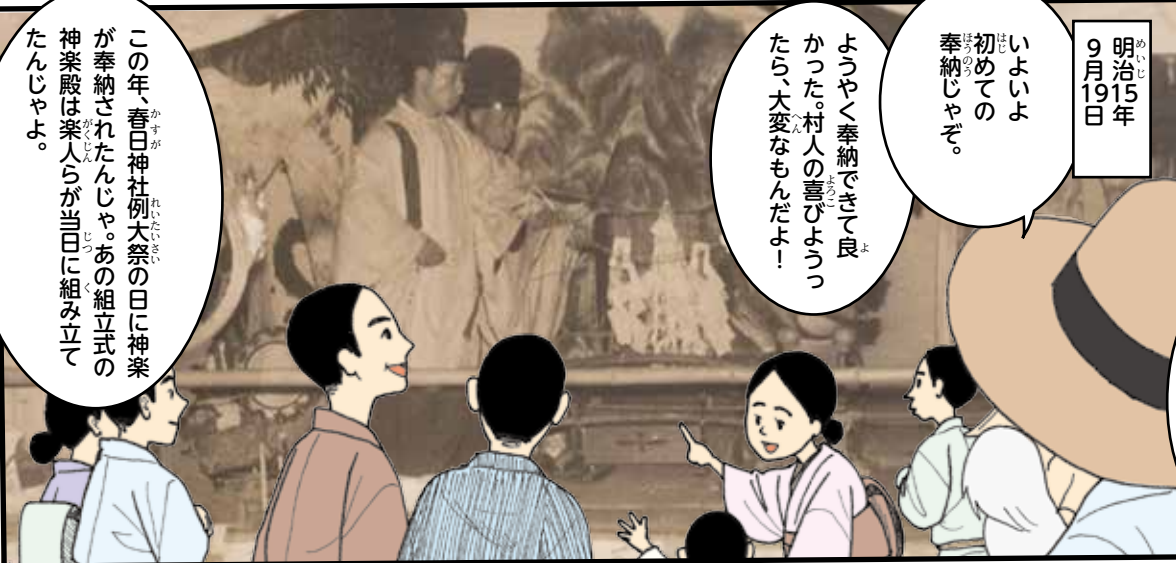


どれ、それじやあ秋に  
タイムトリップするぞ！

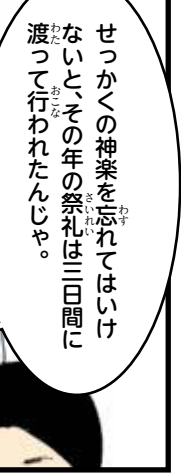
明治15年  
9月19日

いよいよ  
初めての  
奉納じやぞ。

ようやく奉納できて良  
かった。村人の喜びようっ  
たら、大変なもんだよ！



この年、春日神社例大祭の日に神楽  
が奉納されたんじや。あの組立式の  
神楽殿は、楽人らが当日に組み立て  
たんじやよ。



せつかくの神楽を忘れてはいけ  
ないと、その年の祭礼は三日間  
渡って行われたんじや。

かっこいいなあ。  
俺らも楽人になり  
てえ。

こっそり見ながら  
覚えてっぺえ。

それは  
100年早  
いって。



さあ、5年後へ飛ぶぞい。  
ほれっ！

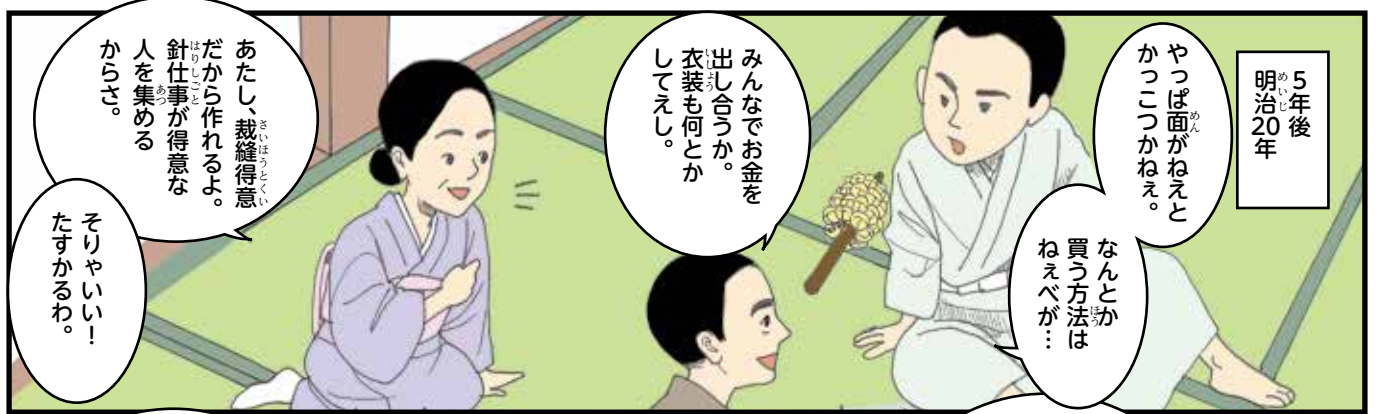
## 神楽殿

当初神楽殿は組立式で、祭礼の度に  
組み立てられていました。屋根には当  
時盛んであった養蚕の道具である「え  
びら」（竹編みの平カゴ）を並べ、軽く  
組み立てやすくする工夫がされていま  
した。大きさは現在ある神楽殿とほぼ  
変わらないサイズで、神楽殿を持たな  
い近隣の村にも貸し出され大いに喜ば  
れたそうです。



組立式の神楽殿（昭和前半期頃）





5年後  
明治20年

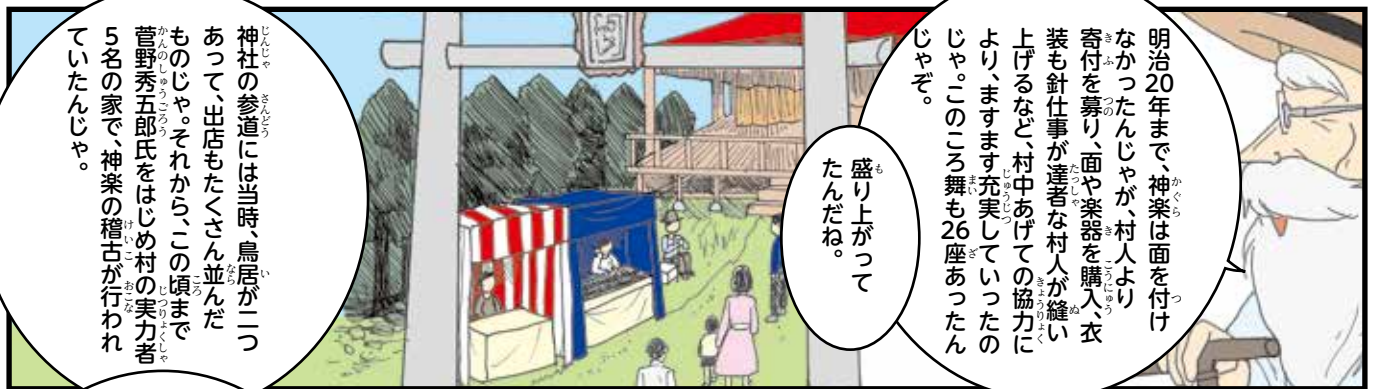
やっぱ面がねえと  
かっこつかねえ。

なんとか  
買った方法は  
ねえべが…

みんなでお金を  
出し合つか。  
衣装も何とか  
してえし。

あたし、裁縫得意  
だから作れるよ。  
針仕事が得意な  
人を集める  
からさ。

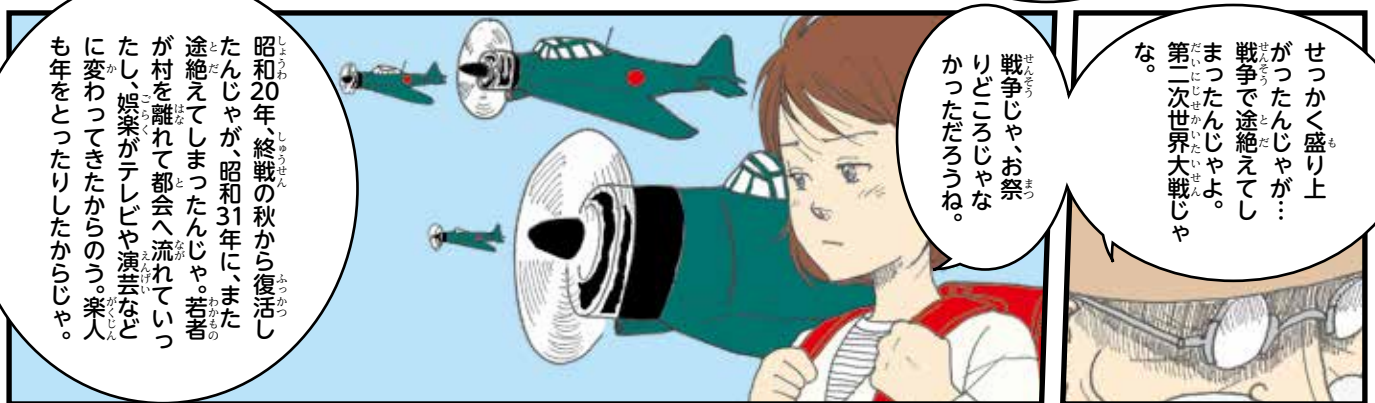
そりゃいい！  
たすかるわ。



明治20年まで、神楽は面を付け  
なかつたんじやが、村人より  
寄付を募り、面や楽器を購入、衣  
装も針仕事で達人な村人が縫い  
上げるなど、村中あげての協力に  
より、ますます充実していったの  
じや。このころ舞も26座あつたん  
じやぞ。

盛り上がって  
たんだね。

神社の参道には当時、鳥居が二つ  
あつて、出店もたくさん並んだ  
ものじや。それから、この頃まで  
菅野秀五郎氏をはじめ村の実力者  
5名の家で、神楽の稽古が行われ  
ていたんじや。



せっかく盛り上  
がったんじやが…  
戦争で途絶えてし  
まったんじやよ。  
第二次世界大戦じや  
な。

戦争じや、お祭  
りどころじやな  
かつただらうね。

昭和20年、終戦の秋から復活し  
たんじやが、昭和31年に、また  
途絶えてしまったんじや。若者  
が村を離れて都会へ流れていっ  
たし、娯楽がテレビや演芸など  
に変わってきたからう。楽人も  
年をとったりしたからじや。



しかし、心配には  
及ばんよ!

どれ、次は  
神楽復活の物語じや。





昭和56年  
春日神社

神楽がないと、春日神社の祭りもさっぱり盛り上がんねえなあ。かといつて、村に若いのもいなくなっちゃったし。

なんとか復活させられないかな。

先輩たちが今まで伝えてきたものだから、残してあげないと...

マンガばかり見てるけど...

いや、今やんねえとホントに途絶えちゃうぞ。そつだ！保存会をつくったらいいでないか？

わしはもう笛は吹けないから無理だべ。歯もないしもう音が出ないんだよ。

なんとか笛を教えてくださいたいんだが。

翌年、内谷地区75戸全員が会員となって保存会が結成されたんじやよ。鴨田安蔵さんが初代会長でな。ところが、神楽で大事な笛の吹き手だった熊坂国治さんももう音を出せなくなっていたんじや。

せつかくの太々神楽を「こゝでなくしたくない。

んじや、指の動きでなんとか教えられるかな。

わしら祭り囃子はできるから、それでなんとか覚えるから！

### 内谷太々神楽保存会

昭和57年に保存会が結成され、その際には内谷地区の75戸全員が加入し、翌年の58年には保存会会員の寄付によって神楽殿の新築が行われました。この頃、練習は祭りの前の一週間程度でしたが、個人練習は各々行っており、農作業の合間に稲穂を刀に見立てて舞の練習をしたり、バケツでお囃子の練習をしたりと熱心に取り組みました。





赤坂齋さん、菅野信朗さんが祭りの笛が得意だったので、神楽で吹き手だった熊坂国治さんを師匠になんとか10座くらいを復活させたんじゃない。

それはすごいね！



それから、11月初旬に行われていた太々神楽の奉納は農繁期に重なるため、昭和57年の春豊作祈願として4月の例大祭で奉納されるようになったんじゃないよ。翌年の昭和58年、保存会委員の寄付などで神楽殿を新築したんじゃない。それが今の神楽殿というわけじゃ。

### 小坂小学校との出会い

小学校との出会いも神楽の伝承にとって大きな出来事じゃったな。

平成12年

社会科の伝統芸能の授業で内容太々神楽を調べることになりました。「指導よろしくお願ひいたします。」



おお、よく来たね。何年生かな？

3年生です。

なんでも遠慮なく聞いてくださいね。



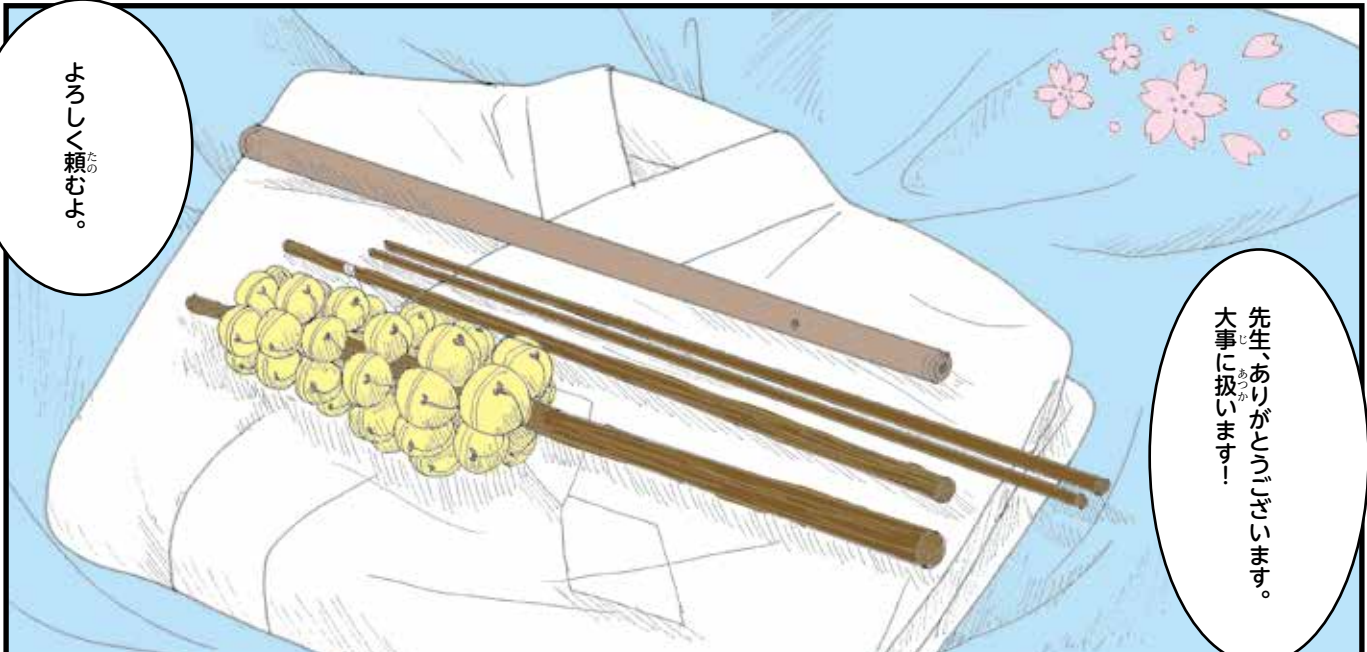
その後学習発表会で演じたというので、小学校に神楽の指導に行ったんじゃない。

これは大変貴重なものだけどせつかくだから貸し出すべ。内容から出すのは初めてのことだからね。



先生、ありがとうございます。大事に扱います！

よろしく頼むよ。







これから内谷太々神楽を舞い  
ますが、これは明治より内谷  
地区に伝わったものです。楽譜  
もなく、伝承のみで伝わってき  
ました。それではどうぞ！



感動するなあ。  
子どもが神楽やるのは。



やっぱり自分たちの手で  
伝統を守らなければ…。  
そうだ、来年、春日神社でも  
やってみよう。

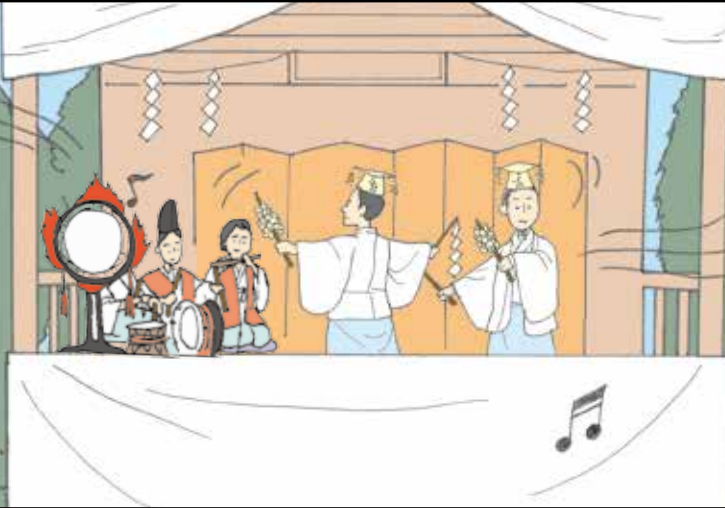
それはいいな。  
話してみつか。

んでも、代々、内谷の  
長男しか舞えない  
ことになってるから  
なあ。

でもそんなこと  
言ったら伝承でき  
なくなっちゃうからな。

神楽を奉納できるのは内谷  
地区の長男のみで、地区外は  
もちろん内谷地区の女性も  
次男・二男も舞台に立つこ  
とは許されない厳しいもの  
だったんじゃないよ。

じゃが、翌年に小坂小学校の  
児童が春日神社の例大祭で  
初舞台にあがったんじゃない。



内谷地区以外の人間が  
初めて春日神社に  
奉納したんじゃないよ。

とまあ、これが内谷の神楽  
の歴史だったんじゃない。どれ  
…そろそろ現代に帰ろう。

ももじいの  
能力すげえ

いや、  
おもしろ  
かったな！

では次に神楽の  
楽しみ方を  
教えるかのう。

ほっほっ  
ほっほっ



かぐら えんもく しゅるい  
神楽の演目の種類

神楽の演目は「座」って言うんじやが、

いろいろ種類があるんじや。

でね、座にはそれぞれ物語や意味があるんだよ。

例えば、「言代」という座は、恵比寿さまが鯛を釣る様子の舞なんだけど、いけない場所で釣りをしているところを水神さまに怒られるっていうユーモラスな物語なんだ。

それから、神話だけじゃなくて山伏が伝えた「三人太刀」という座もあるんだ。三人の武人が刀と鈴を持ってダイナミックに舞うんだよ。

いま、内谷太々神楽の演目は18種類あるんだ。本当はもっとあったんだけど、途絶えちゃったんだって。

演目の意味がわかると、みんながもっと神楽を楽しめると思うんだけどね。

ふっかつ  
演目の復活

現在継承されている座は18座あり、平成28年度には途絶えた演目の復活を目指し、同じ出雲流とされる「大倉の太々神楽」を継承している田村市船引町に出向き、国見で途絶えた演目を習うといった交流が行われました。その結果、平成29年に4座を復活させることが出来ました。

(19ページ参照)







神楽の道具

神楽には、笛と太鼓と舞い手がそれぞれいるんだよ。

笛を吹く人を「吹き手」、太鼓は「たたき手」、舞う人を「舞い手」というんじや。



神楽笛は本当に難しく、今できる人はわずか4人だけなんだ。

楽譜とかないから、先輩の笛の音をよく聴きながら指の動きをまねて覚えるしかないんだよ。



まずは笛。これは「神楽笛」というんじや。



かえんだいこ 火炎太鼓



つつみ 鼓



今は、先輩のお兄さんたちがたいていいるんだ。将来はボクが太鼓をやりたいんだけどね。



しめだいこ 締太鼓



だいびょうし 大拍子

次は太鼓じや。内谷太々神楽の場合、太鼓は4種類あつて、それぞれ音やたたき方が違つんじやよ。





さかき  
榊

しらつえ  
白杖

かがみ  
鏡

すずり  
鈴

しゃくびょうし  
笏拍子

ほこ  
鉾



最後は、「採物」とい  
う舞手が持つ道具  
じゃ。「採物」は演目  
によって使うものが  
違うんじやよ。



内容に伝わっている  
面は全部で12種類あ  
るんだ。

そうそう、面も  
あったね。

あ、狐のお面！

狐の面は、お稲荷様をか  
たどった「宇賀」といっ  
舞で使うんだよ。

- |  |   |   |
|--|---|---|
|   |   |   |
| あまのたちからおのみことめん<br>天手力雄命面   | あまのうずめめん<br>天細女面  | すさのおのみことめん<br>素戔鳴尊面   |
|   |  |  |
| さるとひこめん<br>猿田彦面  | かすがかみめん<br>春日神面   | おおくにぬしのみことめん<br>大国主命面   |
|   |  |  |
| やまとたけるのみことめん<br>日本武尊面  | はちまんだいじんめん<br>八幡大神面   | おきなめん<br>翁面   |
|  |  |  |
| ことしろめん<br>言代面  | ひよっとこめん<br>ひよっとこ面   | しろきつねめん<br>白狐面  |



神楽の稽古

みんな練習はどうしてるの？

大体はわかったけど...

週に一度土曜日に練習しているよ。前は、祭りの前の一週間くらい稽古してたけど、18座を覚えるためには時間が足りないからね。

全部覚えるの大変だ。

ホントその通り



子どもはみんな舞から覚えるんだ。一人で全部の舞を覚えるのは大変だから、みんなで分担して、一つか二つから覚えるんだよ。

みんな何歳から練習しているの？

早い子だと7歳から練習しているよ。今、楽人は7歳から72歳まで34人くらいいるんだ。

昔は26座あったというから、それを復活させようとしてるところなんだ。

昔から伝わったものだから、僕らがちゃんと引き継いでいきたいからね。

そうかあ。



春の例大祭

数年後の4月  
春日神社 神楽殿

観衆 約300人

あみずちゃん  
キレイだね！

あつ、タカオ君だ。  
かっこいいー！

どれどれ、  
ほく二人とも  
すこし様に  
なってきたね。

すんごい人がいっぱい  
で緊張したあ。

やっぱり春日神社での  
奉納が一番だね！

ずっと伝わって  
ほしいものだね。

楽しかった